マックスエアインパクトドライバ

AT-ID6P1

取扱説明書

⚠ 警 告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- ねじ・ボルト・ナットを締める時以外は絶対にスロットルレバー（トリガ）に指をかけない。
- 回転部を絶対に人体に向けない。
- 移動する時、使用しない時、調整・修理・ビット交換の時は必ずエアホースをはずす。
- フック使用の時は、必ずエアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックスエアインパクトドライバAT-ID6P1をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について

	この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、エアインパクトドライバ本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目　　次

1 各部の名称

ビットチャック

フック

アンビル

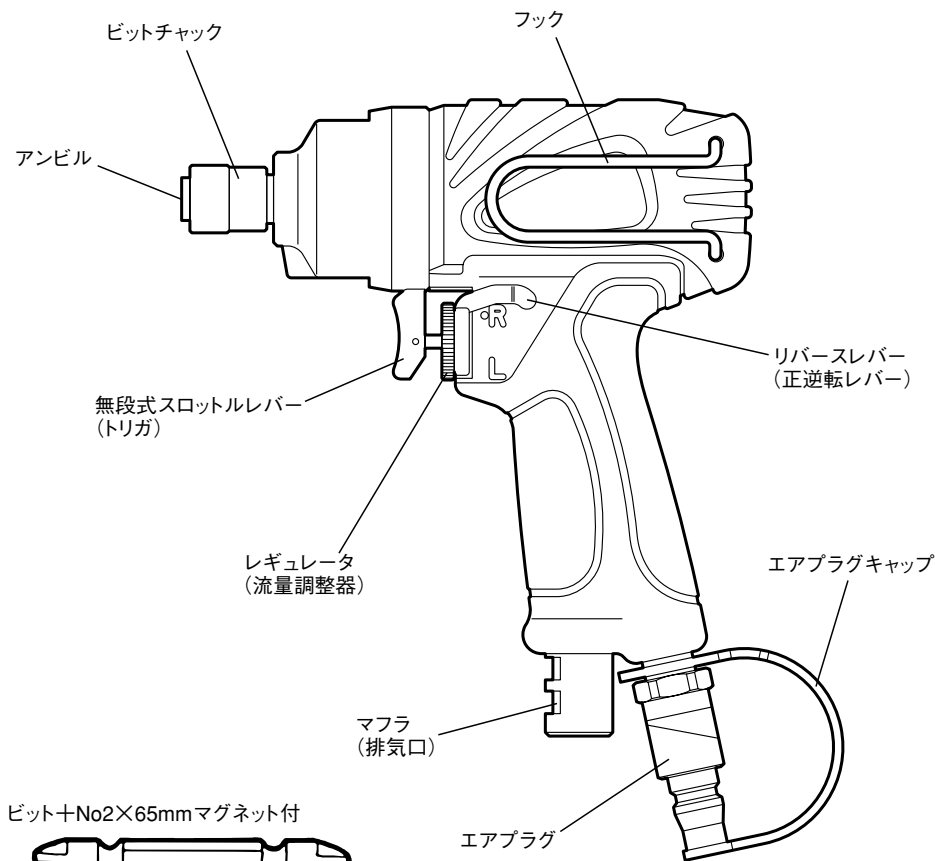
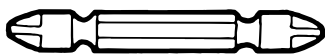
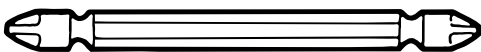
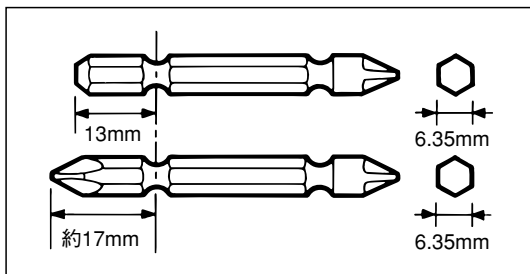
リバースレバー
（正逆転レバー）

無段式スロットルレバー
（トリガ）

レギュレータ
（流量調整器）

エアプラグキャップ

マフラ
（排気口）

エアプラグ

ビット十No2×65mmマグネット付

ビット十No2×150mmマグネット付

●ビットは下記サイズのものをご使用ください。

ハンマオイル
（黄色いオイル）

モータオイル
（透明オイル）

⚠安全作業のために

本機は、木工用ねじ（長押ビス、万能ビス）などの締め付け、ゆるめ作業を目的としたエアドライバです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

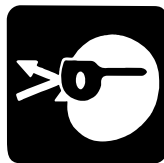
⚠警告

❶使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

作業をする時、ねじと木材により粉塵の舞い上がったり、万一締め損じたねじ等がはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

※保護メガネは別売品で販売しております。

お買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー㈱へお申しつけください。

❶

❷防塵マスクを着用する。

作業をすると、ねじと木材により粉塵が舞い上がります。その汚れた空気から鼻・咽喉・気管・肺を守るため防塵マスクを着用してください。

❷

❸防音保護具を着用する。

作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

❸

❹作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じて、ヘルメット・安全靴等の防具を着用してください。

❹

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

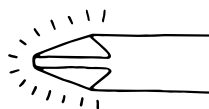
❺エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. 機械本体のボルトの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. ビット先端が割れたり、減っていないか。

長期間使用しますと各部品が消耗してきます。また、不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー㈱へ点検・修理に出してください。

❺-1,2

❺-3

❻エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

❻

❼エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1. スロットルレバー（トリガ）に指をかけない。
2. 回転部（ビットチャック、ビット）を人体に向けない。

❼

⚠安全作業のために

⚠警告

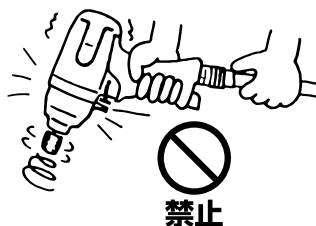
❽エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

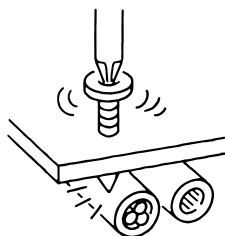
1.エアホースを接続しただけで作動音がしないか。

2.エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー㈱に点検・修理に出してください。

❽

❾埋設物がないことを確認する。

作業箇所に埋設物（電線・水道管・ガス管等）があると、ねじ等が触れ感電・漏電・ガス漏れなど事故の原因になります。

❾

❿状況に応じて遮音壁を設ける。

騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。状況に応じて、遮音壁を設け規制値以下でご使用ください。

❿

⓫正しい服装で作業する。

回転部に巻き込まれないよう、袖口の開いたものや手袋・ネクタイ・ネックレスなどは着用しないでください。

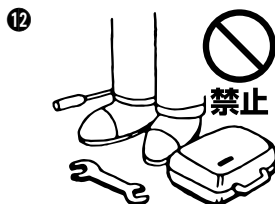
⓫

⚠安全作業のために

⚠警 告

⓬作業場所を常に<u>整理する。</u>

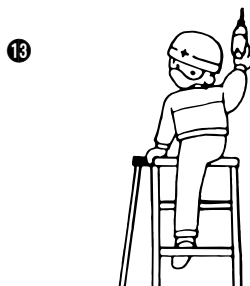
作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。また、十分に明るくしてください。

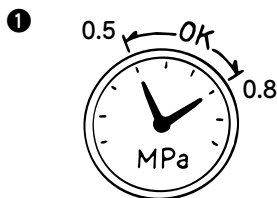
⓬

⓭高所作業では、下に十分に<u>注意する。</u>

高所作業では、下に人がいないか十分に注意してください。

⓭

作業中

⚠警 告

❶使用空気圧を必ず<u>守る。</u>

本機の使用空気圧範囲は0.5～0.8MPa（約5～8kgf/cm²）です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.8MPa（約8kgf/cm²）を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

❷回転部を絶対に人体に向けたり、手足等を<u>近づけない。</u>

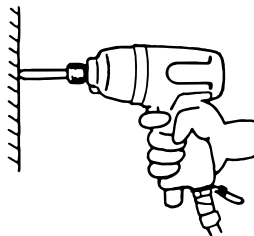
回転部を人に当て、誤って作動した場合には思いがけない事故につながります。また、回転部に手足等が触れますと、はさまれたり巻き込まれたりたりして怪我をすることがありますので絶対に手足等を近づけないでください。

❶ ❷

⚠安全作業のために

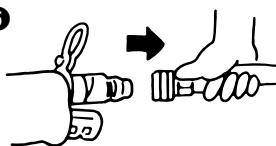
⚠警告

❸ねじを確実に対象物に当てる。

ねじを確実に対象物に当てないと、滑って思わぬ方向へねじが押し出されたりして大変危険です。また、ねじが確実に締め込まれずに保持力低下やねじ頭のキズ、ビットの摩耗の原因となりますのでご注意ください。

❸
❹作業時以外には、絶対にスロットルレバー（トリガ）に指をかけない。

本機を持って移動する時やねじ締め作業をしていない時は、スロットルレバー（トリガ）から指をはなし、エアホースをはずしてください。誤ってスロットルレバー（トリガ）を引き、作動（回転）すると事故の原因になります。

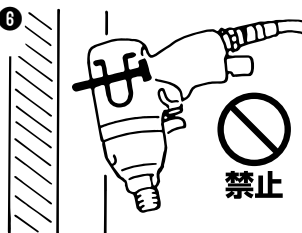
❹
❺作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のビット交換及び調整の時は誤って本機が作動（回転）すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

❺
❻フック使用の時は必ずエアホースをはずす。

フック使用の時は誤って本機が作動（回転）すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

❻

⚠安全作業のために

⚠警告

❼揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うと引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

❼
❽大切に扱う。

落としたりぶつけたりすると故障の原因となります。

❽
❾しっかりした足場を確保する。

無理な姿勢での作業は事故のもとです。しっかりした足場を確保して作業を行ってください。

❾
❿異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー㈱に点検・修理に出してください。

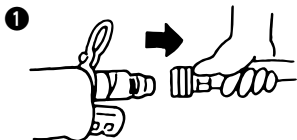
❿

⚠安全作業のために

作業後

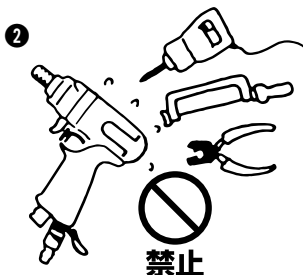
⚠警告

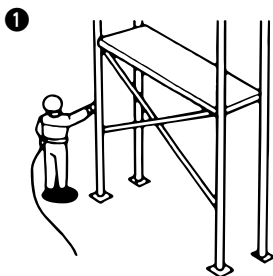
❶作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。

❷本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

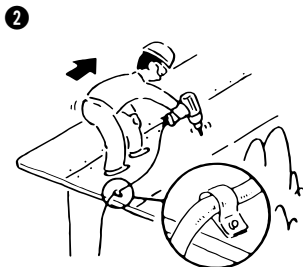
屋外作業について

⚠警告

❶足場の安全性を充分に確認する。

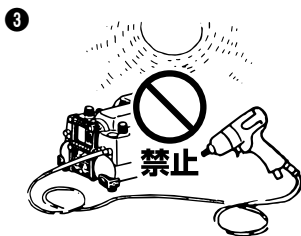
足場を使っての高所作業の場合、作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

❷エアホースの確保。

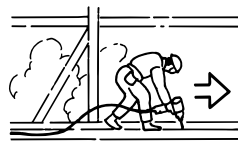
高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

❸直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

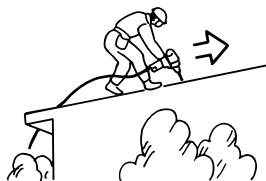
❸
作業方法

❹水平面の作業

前進姿勢で作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

❹〔水平面〕
❺垂直面の作業

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

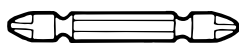
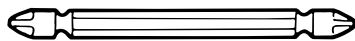
❺〔垂直面〕
❻傾斜面の作業

下から上に向かって前進姿勢で作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

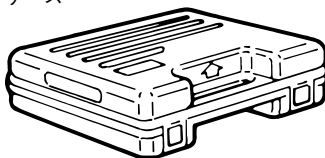
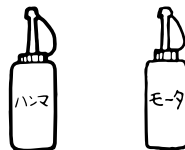
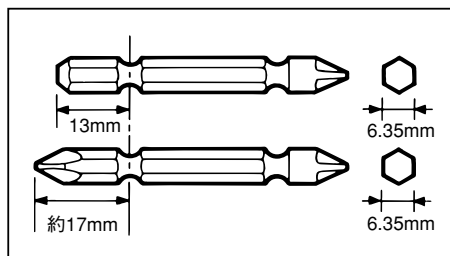
❻〔傾斜面〕

仕様及び付属品

〈仕様〉

商品名	マックス エアインパクトドライバ
商品記号	AT-ID6P1
寸法	全長150mm
質量	1.0kg
能力ねじ径	木工用ねじ ϕ3.5～6mm・木工用ボルトM5～M12
使用空気圧範囲	0.5～0.8MPa （約5～8kgf/cm²）
無負荷回転速度	約7,800min⁻¹（0.6MPa時）
負荷時空気消費量	280Nℓ/min
スピンドル中心より外径まで	25mm（プロテクタ含む）
ビット挿入寸法	6.35mm（六角の二面幅寸法）
使用ホース	内径8.5mm以上、長さ30m以内
使用コンプレッサ	1PS・0.75kW以上
使用オイル	ハンマオイル（マイティスーパー＃32）（ISO VG32）
	モータオイル（マイティスーパー＃10）（ISO VG10）

〈付属品〉

ビット＋No2×65mmマグネット付

ビット＋No2×150mmマグネット付

●ビットは下記サイズのものをご使用ください。

ケース

ハンマオイル　モータオイル

六角棒スパナ5/32

用途

●主な用途

・木工用ねじ（長押ビス、万能ビス）などの締め付け、ゆるめ作業

・アルミサッシ等の組立・組付け

・接合金物止め等の各種ねじ締め付け、ゆるめ作業

使用方法

使用前に、本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

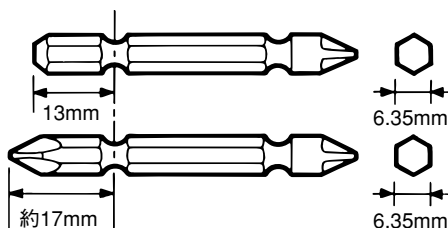
【ビットの取付け、取外し方】

⚠警告

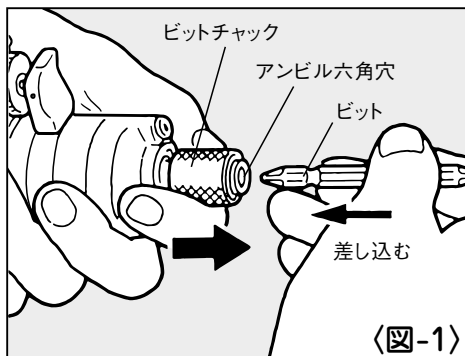
●ビットの取付け、取外しの際は、必ずエアホースをはずす。

⚠注意

●ビットは必ず指定サイズのものを使用してください。
指定サイズ以外のビットを使用すると、作業中にビットが抜けたり、取り外しが固くなることがあります。

〈ビット指定サイズ〉

手順

ビットチャックを前方向に止まるところまで押し、ビットをアンビル六角穴の止まるところまで差し込んで、ビットチャックをはなします。 〈図-1〉

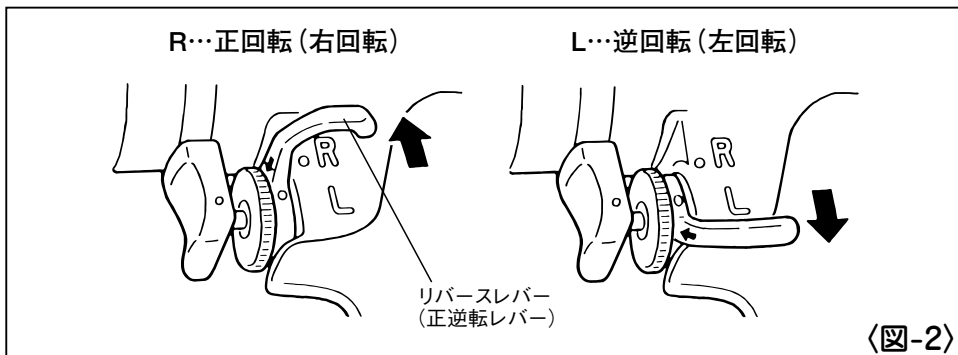
〈図-1〉

⚠注意

●ビット取付け後、ビットチャックが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットをアンビル六角穴の奥に突き当たるまで入れ、ビットチャックが元の位置に確実に戻ったことを確認してください。

※ビットを取外す場合は、取付け方の逆の要領で行なってください。

【リバースレバー（正逆転レバー）の切替え方法】

リバースレバー（正逆転レバー）を「R」側にすると正回転（右回転）、「L」側にすると逆回転（左回転）します。 〈図-2〉

〈図-2〉

⚠ 注 意

●使用前に必ず回転方向を確認してください。また、正回転、逆回転の切替えは、回転が停止した状態で行なってください。回転中に切替えますと故障の原因になります。

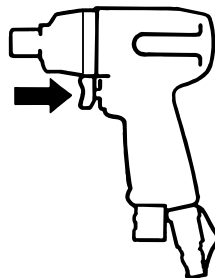
●リバースレバー（正逆転レバー）はR側またはL側の位置にきちんと合わせてください。中間の位置では回りません。

※リバースレバー（正逆転レバー）は、左右どちらでも付け換えができます。組み換えをご要望の際は、お買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー㈱にお申し付けください。

【スロットルレバー（トリガ）の操作方法】

本機は無段変速になっており、スロットルレバー（トリガ）の引き加減で回転数を調整できます。

●スロットルレバー（トリガ）を少し引く……低速回転
ねじの締めはじめやおわりなどの微調整に使用します。

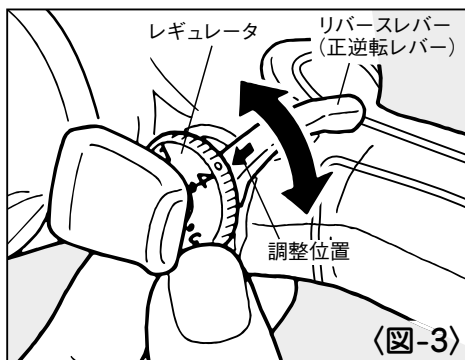
●スロットルレバー（トリガ）をいっぱいに引く……高速回転
ねじの本締めなどに使用します。

【レギュレータ（流量調整器）の操作方法】

レギュレータを回すことで、回転速度を4段階に調整できます。レギュレータを調整して、作業条件に合った回転速度でご使用ください。

手順

レギュレータを回し、目盛りをリバースレバー（正逆転レバー）の調整位置（矢印）に合わせます。　　　　**〈図-3〉**

※リバースレバー（正逆転レバー）をR⇔Lに切換えても、レギュレータが一緒に動くため、回転速度は変化しません。

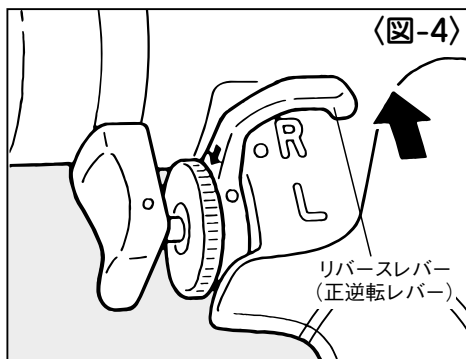
〈図-3〉

レギュレータの目盛り		作業（ねじ）の目安
4	高　速	なげし、万能ビス長さ75～125mmなど
3		なげし、万能ビス長さ75mm以下など
2		小径ねじ　木ねじ 径3.5mm 小ねじ M4など
1	低　速	

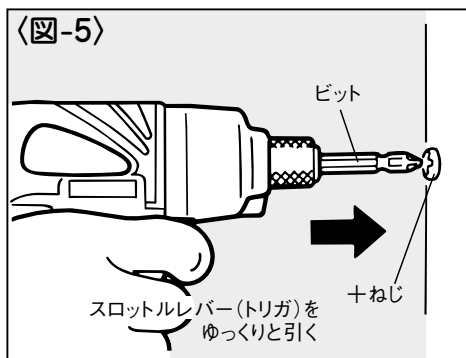
※回転速度が速く、ねじとビットがはずれやすい場合は、低速のレギュレータ目盛り位置でご使用ください。

【ねじの締め方】

手順

❶リバースレバー（正逆転レバー）を「R」側にして、正回転（右回転）にします。〈図-4〉

〈図-4〉

❷ねじの頭にビット先端をあてがい、スロットルレバー（トリガ）を引いてねじ込みます。〈図-5〉

〈図-5〉

⚠注意

●スロットルレバー（トリガ）はゆっくり引き、徐々に回転数を上げるように操作してください。

⚠警告

●ねじに対して、ビットを垂直に当てる。 〈図-5〉

ねじに対して、ビットが斜めですと、ねじに所定の締付力が伝わりません。又、ねじの十字穴を傷つけたり、ビット先端摩耗の原因となります。

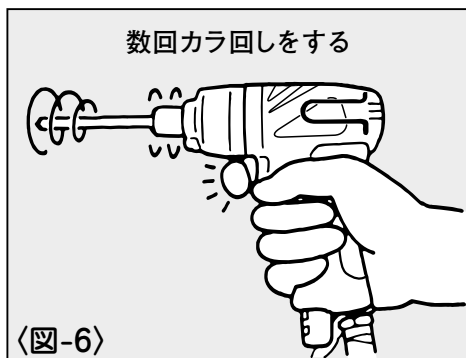
⚠注意

●本機はスロースタート機構を搭載していますが、スタート時にエア漏れし、回転しない場合があります。その時には、スロットルレバー（トリガ）をいっぱいに引いて数回カラ回転をすると回転しやすくなります。

〈図-6〉

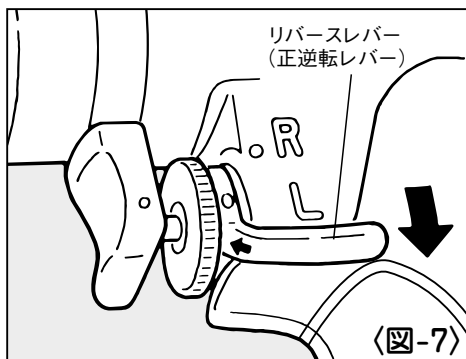
〈図-6〉

【ねじの外し方】

手順

❶リバースレバー（正逆転レバー）を「L」側にして、逆回転（左回転）にします。

〈図-7〉

❷ねじの頭にビット先端をあてがい、スロットルレバー（トリガ）を引いてねじを外します。

〈図-7〉

【排気方向の変え方】

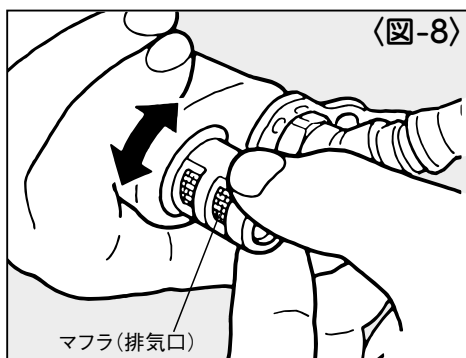
マフラを手で回すことにより、排気方向を360度の範囲で変えることができます。

〈図-8〉

⚠ 警 告

●排気方向を調整する時は、必ずエアホースをはずす。

⚠ 注 意

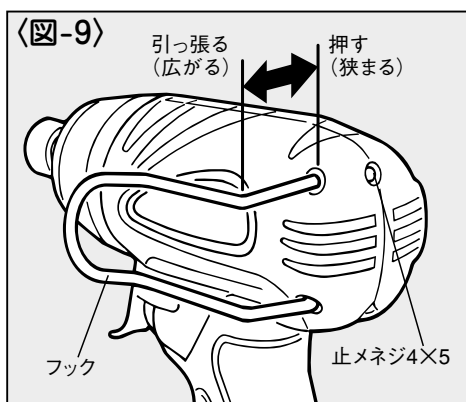
●排気エアを人体に向けないでください。

〈図-8〉
【フックについて】

フックは押すと幅が狭くなり、引くと広くなる可変フックを採用しています。

フック幅を固定したい場合は、ヘッド部止メネジ4×5を締め付ければ固定できます。

〈図-9〉

※フックは左右どちらでも付け換えができます。組み換えをご要望の際は、お買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー㈱にお申し付けください。

〈図-9〉

6 配管についての注意

⚠ 警 告

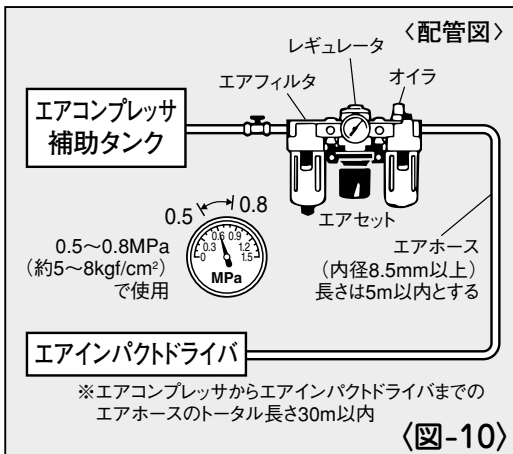
●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

❶動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）は絶対に使わないでください。

❷エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。

❸エアホースは内径8.5mm以上、長さ30m以内で使用してください。
エアセット使用時は、エアセットからエアインパクトドライバまでのエアホースを内径8.5mm以上、長さ5m以内で使用してください。〈図-10〉

〈図-10〉

⚠ 注 意

●スーパーネイラ用と一般釘打機・エア工具用の2種類の取出口のあるエアコンプレッサをご使用になる場合は、必ず一般釘打機・エア工具用取出口に接続してください。

快適にご使用いただくために

❶ エアコンプレッサは**1馬力以上**

❷ エアホースの内径は**φ8.5mm以上**、長さ**30m以内**

❸ 使用前・後に**10滴程度**の注油

❹ エアコンプレッサ**1台**にエアインパクトドライバ**1台**

エアホースの接続

⚠警告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

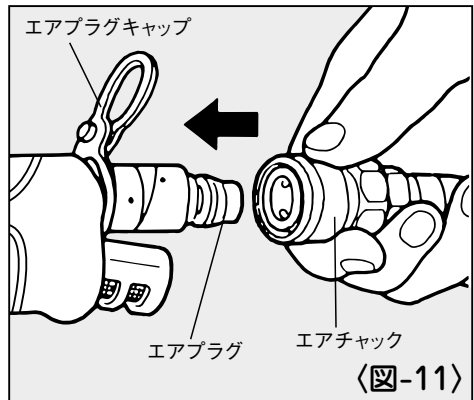
1.スロットルレバー（トリガ）に指をかけない。

2.回転部（ビットチャック、ビット）を人体に向けない。

手順

❶エアプラグからエアプラグキャップを外します。

❷エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。〈図-11〉

〈図-11〉

オイルの補充について

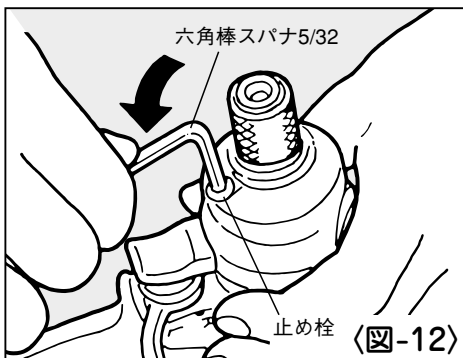
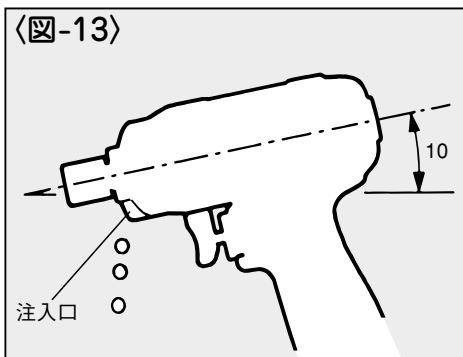
【ハンマ部へのオイル注油方法】

⚠ 警告

●ハンマ部へオイルを注油する際は、必ずエアホースをはずす。

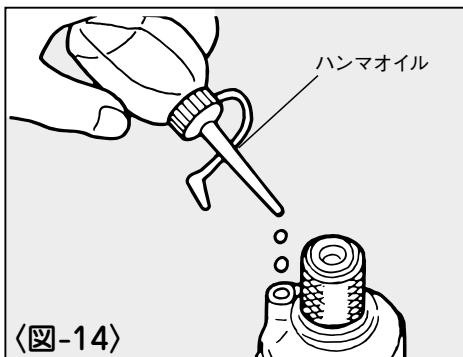
本機はハンマ、アンビルの潤滑にハンマオイルを使用しています。
1ヶ月に1度、必ずハンマオイルの量を確認してください。

手順

❶付属の六角棒スパナで止め栓を取ってください。〈図-12〉

❷注入口を下側にして、本機を約10°程傾けてしばらく待ちます。(P25参照)〈図-13〉

ハンマオイルが注入口からあふれ始めれば注油する必要はありません。あふれ出ない場合はハンマオイルを注油してください。〈図-14〉
(ハンマオイル種類：マイティスーパー#32)

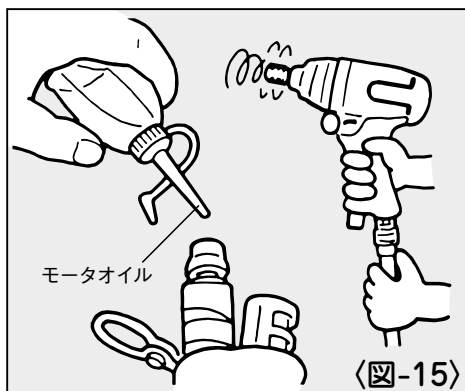
⚠ 注意

●ハンマオイルは、あまり入れすぎると抵抗となり、トルクがでなくなりねじ締め能力が低下します。

❸付属の六角棒スパナで止め栓を取り付けてください。

【モータ部へのオイル注油方法】

使用前、使用後に付属のモータオイルをエアプラグの口より10滴（0.2cc）程度注油してください。

特に使用後10滴（0.2cc）程度注油しましたら、エアホースをつなぎ、2～3回カラ回転（無負荷回転）させ、モータオイルをモータ内に循環させてください。〈図-15〉

〈図-15〉

⚠ 注 意
●注油しないとねじ締め能力が低下します。
●注油しないと、能力低下や故障の原因となるばかりでなくモータが錆びて回らなくなります。
●モータオイルは付属のオイルをご使用ください。付属以外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。
●長時間使用する時は、エアセットの使用、又は作業途中に注油してください。

（モータオイル種類：マイテイスーパー#10）

性能を維持するために

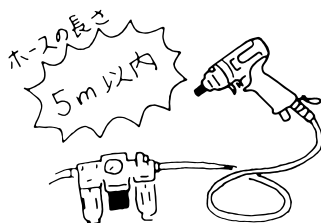
❶本機を大切に使う

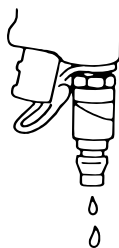
落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。

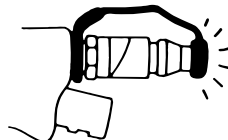
❷不必要な無負荷運転はさける

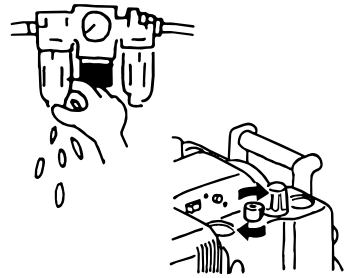
不必要な無負荷運転は、部品の摩耗を早め作業能率を低下させる原因となりますのでさけてください。

❸エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。

❹本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。

❺エアプラグキャップの使用方法

機械内部にゴミが入ると回らなくなります。
本機には内部に極力ゴミが入らないようにボデー内部にフィルターを装着していますが、内部にゴミが入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。また、エアホースに接続するときには、エアチャックとエアプラグのゴミをよく拭き取ってから接続してください。

❻エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまると、エアモータ部へ水分が回り能力低下や故障、錆び発生の原因となりますので使用後は必ず水抜きをしてください。

❼定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー㈱にお申しつけください。

保証、アフターサービスについて

【保証について】

●本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。

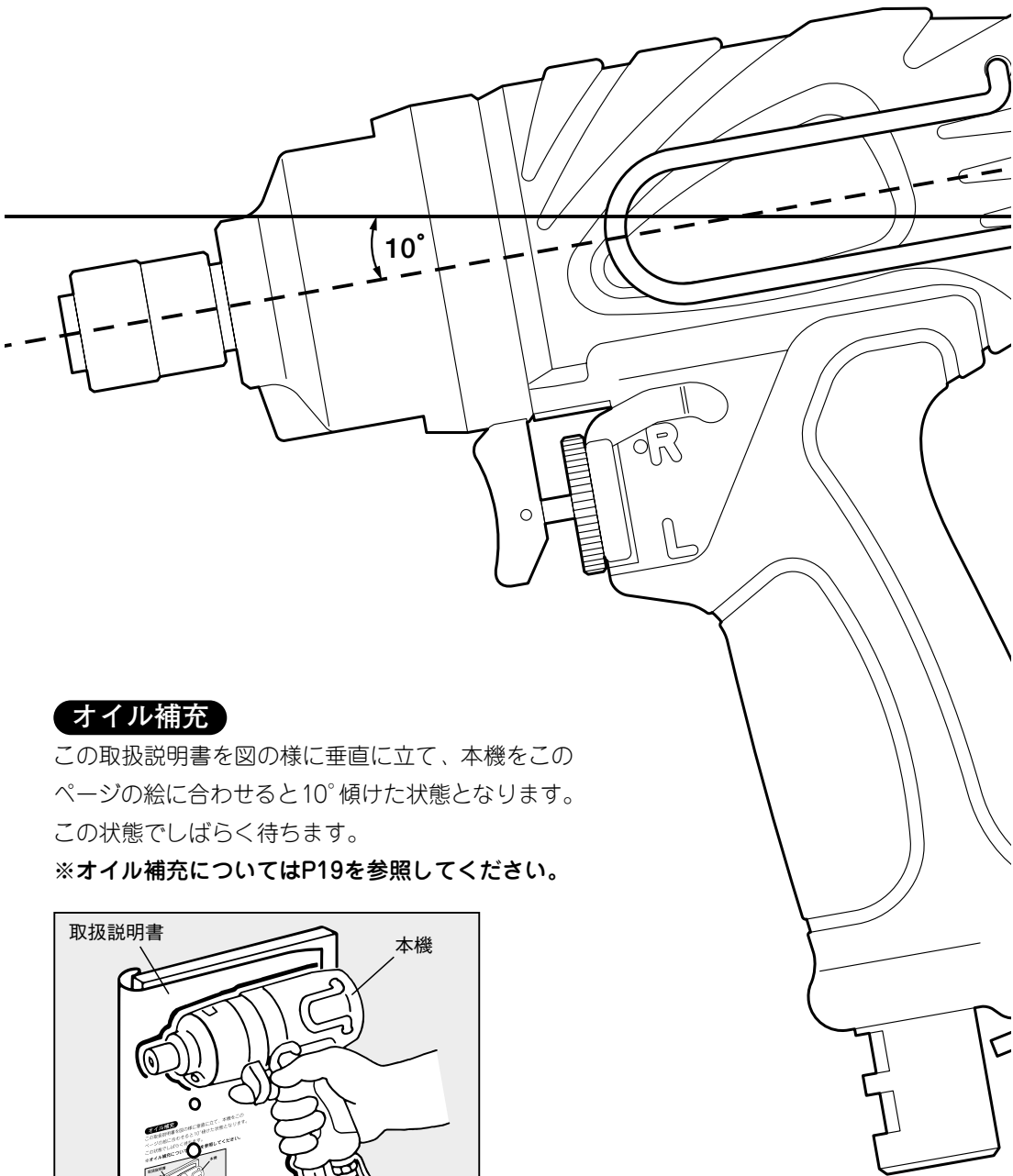
●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●本機の基本保証期間はお買い上げ日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー㈱にご相談ください。

●保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

オイル補充

この取扱説明書を図の様に垂直に立て、本機をこのページの絵に合わせると10°傾けた状態となります。この状態でしばらく待ちます。

※オイル補充についてはP19を参照してください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町６－６	TEL（03）3669-8120㈹

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東６－12－８	TEL（011）261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東２－１－29	TEL（022）236-4121㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭２－10－３	TEL（019）621-3541㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町６－６	TEL（03）3669-8118㈹
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘２－３－27	TEL（029）255-3761㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町２３１３	TEL（028）636-3012㈹
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町２３３－５	TEL（027）210-7755㈹
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀８１５５	TEL（0263）26-4377㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL（04）7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町５－17－19	TEL（042）528-3051㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川１－11－23	TEL（052）935-8531㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市中区高丘東２－22－15	TEL（053）439-3300㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川１－３－18	TEL（06）6444-2031㈹
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町６－２－４	TEL（078）367-1580㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音７－11－24	TEL（082）291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL（092）411-5416㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町３－24	TEL（099）269-5347㈹

販売関係会社

新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館２－14－28	TEL（0256）34-2112㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町３－421	TEL（048）651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日１８７０－１	TEL（043）422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘７－６	TEL（045）364-5661㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市駿河区敷地１－３－26	TEL（054）237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸２－15	TEL（076）240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10－８	TEL（076）452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東２－１７１１	TEL（0776）27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町９	TEL（075）645-5061㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田３－23－28	TEL（086）246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町７６１－３	TEL（087）866-5599㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山２－１－35	TEL（089）913-0608㈹

マックスサービスファクトリー㈱

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町４１２	TEL（027）350-7820㈹
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町３－421	TEL（048）667-6448㈹
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東６－12－８	TEL（011）231-6487㈹
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東２－１－29	TEL（022）237-0778㈹
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川１－11－23	TEL（052）935-8210㈹
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川１－３－18	TEL（06）6446-0815㈹
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音７－11－24	TEL（082）291-5670㈹
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL（092）451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） **0120-228-358**

月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

070418-00/00